

# 2026年度前期START+プログラム コース一覧

※2026年5月現在の予定です。プログラム内容は予告なく変更する可能性があります。

	プログラム名/ 研修先大学◆機関	渡航期間/定員/ 参加費(※注)	JASSO奨学金	主な研修内容(予定)	宿泊場所	研修先大学・機関の紹介	研修先地域・都市の紹介	単位数
第6回	「ソウルで学ぶエンターテインメント産業」 ／ソウル市立大学	8月5日(水) ～8月21日(金) 定員:20人 (2～4年生対象) 参加費:22万円	対象者:11万円支給	午前と午後で学ぶ内容を分け、語学と文化・社会をバランスよく学びます。 午前中は主に韓国人講師から韓国語を学び、午後は英語で韓国の近代史や経済、文化について理解を深めます。 また、現地学生サポーターと一緒に校外学習を行い、実際の場面で韓国語を使う体験も行います。  主な内容 ◆午前:韓国の伝統文化・現代文化に関する講義(※英語で実施) ◆午後:レベル別の韓国語講座 ◆大学キャンパスおよびソウル市内の見学 ◆景福宮(キョンボックン)訪問、韓服(ハンbok)体験 ◆K-POPダンス体験、韓国料理教室 など	ソウル市立大学の寮	【ソウル市立大学】 ソウル市に位置するソウル市立大学は、韓国・ソウル特別市が設立した公立の総合大学で、都市政策や公共分野に強みを持つ大学として知られています。男女共学で、都市科学、社会科学、人文科学、工学、自然科学など複数の学部・大学院を擁し、約12,000人の学生が学んでいます。 また、世界各国の大学と交流協定を結び、学生交換や共同研究などの国際交流を積極的に推進しています。理論と実践を結びつけた教育を通じて、都市問題、環境、行政、国際協力などの分野で専門性を身につけた卒業生は、公共機関、民間企業、国際分野などで幅広く活躍しています。	【ソウル市】 ソウル特別市は、人口は1000万人を超える大韓民国の首都。京畿地方に位置し、行政区25区からなるソウルは政治の中心であるだけでなく、経済、交通、文化、教育、学術面などにおいて韓国の中枢。都市圏人口は2604万人で世界5位。韓国全人口の約半数が居住し、人口密度は東京都の約3倍です。アジア最大級の都市であり、東京、ニューヨーク、ロサンゼルスに次ぐ世界4位の都市圏経済力を有しています。	2
第7回	「世界一の半導体と、移動する民、世界を旅する客家文化-世界を動かす半導体技術と世界的ネットワークを築いた客家文化を台湾で学ぶ-」 ／国立中央大学	8月29日(土) ～9月13日(日) 定員:24人 (2～4年生対象) 参加費:20万円	対象者:9万円支給	先端科学技術と台湾の文化を組み合わせる学びます。半導体や放射光といった最先端分野について講義と企業・研究機関の視察を行うとともに、中国語や台湾の多様な文化への理解を深めます。  主な内容 ◆半導体に関する講義 ◆TSMC(半導体製造企業)の視察 ◆放射光に関する講義 ◆NSRRC(国立放射光研究センター)の視察 ◆現地学生との交流 ◆エクスカーション ◆中国語および台湾文化に関する講義 ◆客家(ハッカ)文化に関する講義 ◆九份、南雅奇石、故宫博物院、夜市などへのエクスカーション ほか	大学内のゲストハウス	【中央大学】 台湾の桃園市に位置する国立の総合大学です。1915年に南京に設立され1962年に台湾に移転しました。特に、理工学、宇宙科学、地球科学、経営学などの分野で高い評価を受けています。12,000名の学生がおり、8つのcollege、26学部、19大学院を有しています。	【新竹市】 台湾の北部に位置する都市で、台湾を代表する大学が多くキャンパスを構える教育の中心地です。また、IT関連の工場や企業が集中しているため、「台湾のシリコンバレー」と呼ばれています。 【桃園市】 台湾の北部に位置する都市で、台北市の南西に隣接しています。桃園市は台湾の主要な交通ハブとして知られ、桃園国際空港(台北桃園国際空港)が所在することで国際的なゲートウェイとしての役割を果たしています。	2
第8回	「農業と一村一品運動-現地でのフィールドワーク、農村ステイを通して-」 ／タイグエン農林大学	9月7日(月) ～9月24日(木) 定員:20人 (2～4年生対象) 参加費:19万円	対象者:8万円支給	農業や生物資源をテーマに、講義と体験学習を組み合わせる学びます。 農村地域でのフィールドワークや現地学生との交流を通して、地域社会と持続可能な発展について理解を深めます。  主な内容 ◆農業・生物に関する講義 ◆タイグエンで有名なお茶工場の視察と「一村一品運動」の学習 ◆農村ステイによる体験学習(茶の収穫、米の収穫、野菜の植え付けなど) ◆湖でのクルーズ ◆現地学生との交流、エクスカーション ◆ハノイ市内でのエクスカーション	ホテル及び農村ステイ	【タイグエン農林大学】 ベトナム北部のタイグエン市に位置する、農林業に特化した総合大学です。農業、林業、環境管理、農村開発などの分野で教育・研究を行っており、特にベトナム中部および北部の山岳地域の発展に貢献しています。	【タイグエン市】 ベトナム有数の工業都市で、近年は韓国・サムスンをはじめとする外資系企業の進出により、電子機器製造が盛ん。	2
第8回	「持続可能な社会とオーストリアの宮庭文化-世界遺産訪問や現地学生との交流を通して-」 ／グラーツ大学	9月11日(金) ～9月24日(木) 定員:15名 (2～4年生対象) 参加費:43万円	対象者:9万円支給	持続可能な開発や気候変動をテーマに、講義と視察を通して学びます。 科学技術や環境分野の先進的な取り組みに触れるとともに、歴史と文化を体感できるフィールドワークを行います。  主な内容 ◆Sustainable Development(持続可能な開発)に関する講義(現地学生とのディスカッション) ◆Wegener Center for Global and Climate Changeの視察 ◆ドイツ語講義 ◆Joint Degree プログラムに関する講義(広島大学とグラーツ大学で学位を取得する制度の紹介) ◆科学技術に関する講義および視察(海水発電所) ◆シュロス・エツゲンベルク城、モーツァルト生家、シェーンブルン宮殿など世界遺産の訪問 ◆ハルシュタット訪問	3か所ホテル宿泊・ツインルーム利用予定	【グラーツ大学】 オーストリアのグラーツ市に位置する歴史ある公立大学であり、1585年に設立され、オーストリアで最も古い大学の一つとして知られています。 30,000人の学生がおり、特に人文・社会科学、自然科学、医学などの分野で、先進的な研究が行われています。	【グラーツ】 オーストリアで第二の規模を持つ都市で、特に、旧市街(Altstadt)はユネスコの世界遺産に登録されており、中世の城や教会、広場などが保存されています。音楽や映画、文学など、さまざまな文化イベントやフェスティバルが定期的に開催されています。 【ザルツブルク】 オーストリアの西部に位置する歴史的な都市で、世界的に有名な作曲家ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトの生まれた場所として知られています。 【ウィーン】 オーストリアの首都および最大の都市であり、ローマ帝国、ハプスブルク家、オーストリア＝ハンガリー帝国など、数多くの歴史的な帝国や王朝の中心地として栄えました。美術館や美術ギャラリーが数多くあり、オーストリアやヨーロッパの美術史を代表するコレクションを保有しています。	2

(※注)参加費には国内交通費を含みません。参加費のほかに、自己負担費用として、海外旅行保険料(大学指定のものに加入必須)、パスポート申請費、現地交通費、お小遣い(食費含む)などがかります。